

# “人むすびの場”をともに創りませんか？

- ★「むすび（産霊）」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。
- ★「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあい、未来に向かう「対話と創発の場」です。2008年から毎月開催しています。
- ★私たち一人ひとりが一枚の布を織りあげるように、どこを織っているかは後でのお楽しみで、世の中と関わることで、未来社会を明るいものにできるよう希（ねが）います。
- ★2018年も心ある取組みの“今”をお伝えし、対話を通じて前進しましょう。皆さまのご参加を心からお待ちしています。

## 1. 第122回テーマ：「もっと高校生が地域連携の実践者に」

～文科省『高校発の地方創生』事業のこれから～

2. 日程：平成30年9月14日（金）午後7時～9時

3. 内容：☆ゲストスピーチ 坂下 拓夢（さかした・たくむ）さん

＜大正大学地域創生学部1年＞

18歳の大学生を迎え、高校～大学の教育のあり方を「地域連携」の視点から考えたいと思います。

岐阜県飛騨市の吉城高校から今春進学した坂下拓夢さんは、「地域と一体になった授業が当たり前だと思っていたら、そんな体験をしていない学生がこんなに多いのか」と感じたそうです。坂下さんの高校では、生徒有志が地域でボランティア活動をする「YCK（吉高地域キラメキ）プロジェクト」に取り組むなど、地域の課題を解決するユニークな実践的な授業で成果を上げていることで知られています。

高校生が地域の課題に学ぶ中で、地域連携の実践者として成長する—。文部科学省は2019年度から、各地で地域人材を育成する「高校発の地方創生」のモデル事業を始める方針を打ち出しました。地元との結びつきが薄いとされている高校時代こそ地域学習を充実させることで、「地域×高校連携」型のキャリア教育から生徒一人一人が自らの望む未来を手に入れ、地域を意識してもらう人材育成を目指すそうです。新たに特別な授業を実施し、「商店街の活性化」「観光資源の活用」「介護への対応」などの課題を取り上げていくそうですが、坂下さんの体験を踏まえ、これからの「地域連携の実践者」の姿を探ってきましょう。

☆人むすびカフェ ファシリテーター：角田 知行さん

ワールド・カフェの手法を用いて、ゲストのお話から連想されるアイデアやお互いの想いを対話します。

4. 会場：EIJIPRESS Lab（渋谷区恵比寿南1-9-12 ピトレスクビル5F）

5. 参加費：1000円 ※終了後、軽く交流会を開催します。（実費2,000円）お申し込みは13日（木）まで。

## お申込はHPまたはメールからどうぞ！

お名前、所属、電話、mailアドレス、懇親会参加をご明記ください。<http://www.terrestrial.co.jp/musubi/>

※記録写真の撮影とその活用をご了承ください。

株式会社テラ・コーポレーション内

“人むすびの場”づくり企画運営チーム：高重

東京都文京区白山1丁目20番4号

ハウス白山ビル4階（〒113-0001）

TEL:03(3815)1981

Email:[info@terrestrial.co.jp](mailto:info@terrestrial.co.jp)

※お預かりした個人情報は本ご案内の他に利用しません

